



新会長 挨拶

平成29年2月28日

一般社団法人 東京キワニスクラブ 会長 増田好平

昨年11月24日に、棚澤青路前会長のあとを受けて、東京キワニスクラブの会長になりました。私が入会したのは平成21年12月ですので、今からほぼ8年前になります。入会するまで、「キワニス」という言葉を聞いたことはありませんでしたし、それから8年後に会長を引き受けるとは全く思っていませんでした。そんな私ですが、これから1年間、可能な限り、「キワニス」のために努力をしていきたいと思えます。

私が力をいれたいのは、「ボランティア活動の充実」と「会員数の拡大」です。

「キワニスドール」や「子ども食堂」などのボランティア活動は、「子ども達のために」というキワニスのモットーに最もふさわしいものであり、キ

ワニスの大きな特徴です。その意味で、このような活動を充実させていくことが、キワニスの存在意義を高めるものだと思います。

また、このようなボランティア活動などを支えていくには、「会員」の存在が不可欠です。東京キワニスの会員数は、平成4年の311名がこれまでの最大で、それ以降減少し続けています。この傾向を反転させて、会員数を増やしていくことが重要だと考えています。

これからの1年、よろしく願いいたします。



キワニスドールをつくる会 10月から1月までの報告

エドワーズライフサイエンス社「キワニスドールをつくる会」 2017.10.26

エドワーズライフサイエンス社は米国系の医療器具製造企業で、今年度初めてキワニスドールづくりに参画することになりました。同社はSOC (Strengthen Our Community) と称するボランティア活動を社員に積極的に勧奨しており、キワニスドールづくりもその一環として社長室と広報室のスタッフをリーダー格に意欲的に取り組んでおられます。

10月6日と31日に東京支店、24日には東京本社でと、短期間に集中的なドールづくりが企画され、それぞれに当クラブからスタッフが訪問して綿詰めとくけ縫いの指導を行いました。社員の皆さんの真摯なドール作りの姿勢には大変感銘いたしました。また、女性のみならず男性社員も見事な綿詰めとくけ縫い技術を駆使して素晴らしいドールを完成させていたことも印象的でした。

同社では11・12月にかけて大阪・名古屋・福岡の地方支店でもドールづくりを開催する予定ですが、これには東京で訓練を受けた同社のベテランスタッフが指導に赴き、今回、全国で約100体のドール作成を目指すということです。

このようにキワニスドールづくりの輪が着実に広

がっていることは力強い限りです。

キワニスクラブとしては、引続き、真に子ども達に喜んでもらえる質の高いドールづくりを普及させる重要性を再認識して取り組んでまいりたいと思います。

(事務局長 細田久雄)



SAS Institute Japan 「キワニスドールをつくる会」 2017.11.28

2017年11月28日(火) 10:30～15:30、六本木ヒルズにあるSAS Institute Japanのオフィスで、はじめて「キワニスドールをつくる会」が開催されました。

この日をSASではワールドワイドでボランティア活

動を行う日にされており、日本法人では、いろいろなボランティアの中から「キワニスドールづくり」を選んでくださったそうです。

社員の皆さんは、仕事の合間に会議室まで来て、会員のアドバイスのもとに綿詰めから脇綴りまでの工



程を実施。おひとりで3個も作られた方がいる等、とても熱心に取り組んで下さり、終わってみれば40個以上のすばらしいドールが完成していました。ご参加いただいた社員の皆さんも楽しんでドールづくりをされたようで、完成したドールと一緒に笑顔で記念写真を撮られていました。

キワニスドールをつくる会は、年間30回以上開催

していますが、年間1,000個以上のキワニスドールを多くの医療機関等に寄贈しているため、一つでも多くのキワニスドールが必要です。キワニスドールをつくる会の活動を実施していただいている企業には心より感謝申し上げます。

(ボランティア活動委員長 田口徹)

「子ども虐待防止 オレンジリボンたすきリレー2017」応援に参加して 2017.11.12

11月は児童虐待防止推進月間、この啓発活動の一環として11月12日(日)に「第11回子ども虐待防止 オレンジリボンたすきリレー2017」が開催されました。当クラブはこのイベントの協賛団体として第1回から参加し、寄付のほかりレーランナーの協力、会員企業からの飲料提供を実施しています。

当クラブが参加した都心コースは、渋谷駅ハチ公前広場をスタートして横浜山下公園までの7区間で、サークルK武蔵野大学の3名とIVUSAの1名が1区(5km 渋谷駅~東京タワー)を、JUNKO ASSOCIATIONの4名が2区(5.5km 東京タワー~品川児童相談所)を走ります。

この日は晴天に恵まれたものの最低気温は9.9℃、北風が強く、とても寒い朝でしたが、9時前には吉國真一前会長が渋谷駅ハチ公前広場に出場メンバーを激励するために到着しました。さすがに学生達は元気で、のぼりを持って道行く人々に子ども虐待防止の呼びかけを行っていました。

ハチ公前には多くの方が応援に駆け付け、渋谷区長等の来賓挨拶、ハチ公前広場での記念撮影の後、9時20分に武蔵野大学、IVUSAのメンバーが集団の先頭になって東京タワーに向けてスタートを切りました。東京タワーでは、星利樹会員が出迎えるとともに、JUNKO ASSOCIATIONを見送りました。

児童相談所の児童虐待相談件数は年々増加し、平成27年度には10万件を超え、東京だけでも1万2千件を突破しています。最近、身体的虐待だけでなく、心理的虐待も多く、件数増加に繋がっているそうです。

子ども虐待防止の願いを込めたオレンジ色のたすきは、渋谷駅から横浜山下公園までの35.8kmを繋ぎ、その思いは沿道の多くの人々に届けることができたのではないかと思います。

最後に、尾崎聖治会員と木本健会員のサッポロホールディングス株式会社様からは、今回もスポーツ飲料を寄贈いただきました。御礼申し上げます。

(ボランティア活動委員長 田口徹)



一般社団法人 東京キワニスクラブ定時総会 2017.11.24

2017年11月24日、桜田門「法曹会館」2階高砂の間において、定時総会が開催されました。議案は①平成29年9月期事業報告及び決算書、②公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書、③平成30年9月期の理事の選任についてでした。議長の棚澤青路会長が定時総会の開会を宣言。これに続き、事務局長の大野重國から、会員総数193名に対し合計108名（出席者数52名、委任状提出者56名）と総会員の議決権の過半数に達し、総

会は有効に成立していることを報告致しました。次に、議案の審議に入り、大野及び鋳川陽介財務委員長からの説明、大澤佳雄監事からの監査報告、棚澤議長から理事会推薦の理事候補者一覧の説明があり、いずれも満場一致で承認されました。以上で総会は終了し、直後の臨時理事会で、増田好平理事が新会長に互選され、副会長等の業務執行理事の分掌等も決まり新体制でのクラブ運営が始まりました。

（前事務局長 大野重國）

東京キワニスクラブ新年互礼会 2018.1.12

平成30年の新年互礼会は、1月12日（金）午後5時半より銀座ライオン6階クラシックホールにて開催されました。当日ホールには71名の会員、並びにご家族の方々が集い、楽しく和やかに新年を祝いました。初めに増田好平会長からご挨拶をいただき、昨年に新しく制定されたキワニスソング「子どもに夢を」を全員で斉唱しました。その後で、恒例となっております年男・年女の方々による鏡開きが行われました。東京クラブの成年生まれの会員は、大正11年・昭和9年・昭和21年・昭和33年生まれの9名の年男女の方々です。

当日のご出席は鶴田日夫会員・廣瀬駒雄会員・石原正之会員の3名の皆様で、威勢よく鏡を開き会場はいっきに盛り上がりを見せました。そして昭和9年お生まれの廣瀬会員のご発声で乾杯となり、同じ年

生まれの鶴田会員のご挨拶がありました。

今年は、久しぶりにキワニス在籍25年以上の会員を国際キワニス5年毎に表彰するリージョン・オブ・オナーの表彰があり、細田久雄事務局長より対象者14名に表彰状などが贈られました。これに対し、迫秀一郎会員、安田和義会員からお礼のご挨拶がありました。

楽しく歓談が進みましたが、少し早目の午後7時には寺崎志野副会長からご挨拶をいただき、互礼会は中締めとなりました。

司会は事業企画委員長の大嶋で、進行のお手伝いを雲類鷲孝副委員長に、写真撮影を吉田浩二会員に務めていただきました。また受付として、細田事務局長、伊藤康成会員にご協力いただきました。

（事業企画委員長 大嶋英一）



寺子屋in妙法寺に参加して 2017.12.2

12月2日（土）晴れ渡った朝、少し寒かったのですが、身の引き締まる思いで妙法寺に到着しました。子ども達が来てくれるだろうか、喜んでもらえるであろうか、期待半分、不安半分でした。まずは、楽しんでもらえることを願って、寺子屋に参加しました。「寺子屋 in 妙法寺」は土曜日の午前中、地域の小学生が宿題やドリルをやったり本を読んだり、自由に過ごす「居場所」です。お昼に軽食を出します。大人は極力手を出さず、質問があれば答え、あとは一生徒になって一緒に自由に勉強するものです。

第1回の12月2日は7人の児童が参加し、一安心でした。その他、地域ボランティア3名、学生ボランティア4名、キワニス会員8名が参加しました。

児童は各自、勉強道具を持参し、思い思いの勉強を始めました。分からないところは、各テーブルについた学生ボランティアが担当、キワニス会員も漢字検定の勉強を実施し、和やかな雰囲気です。寺子屋は進められました。その間、キワニスのカメラ部が写真を撮影。その写真はプレゼントされ、児童は大喜びでした。お昼はオムライスとスープ。素材のチキンライスは企業の災害用の備蓄を提供してもらったものです。



チキンライスに卵を焼いてオムライスにしてグレードアップ。料理はキワニス会員が大奮闘でした。

始まる前の不安は不要でした。参加した児童の楽しそうな様子、関係された方々のご協力により、第1回目の寺子屋は無事終わりました。

なお、恒例の「子ども食堂 in 妙法寺」は3月27日（火）を予定しています。

（事業企画副委員長 雲類鷲孝）

寺子屋in妙法寺(新年 書初め) 2018.1.5

12月から再開した「寺子屋 in 妙法寺」。2日（土）、16日（土）、23日（祝）と12月に3回実施し、



参加した児童の数は、7名、5名、12名と徐々に地域に浸透してきた様子です。

1月最初の「寺子屋in妙法寺」を1月5日（金）に開催しました。新しい年に向けてまた冬休みの宿題もあろうかと、「書初め」が実施されました。参加した児童は、地域の児童、養護学校の児童で24名。前回までよりも男子の割合が増えました。書初めということで、鈴木祐二会員の姪御さん、狩野省市会員の奥様、ご友人、ボランティアの学生さんが指導役として参加してくださいました。

低学年の児童が多く、最初は「硬筆習字」から、徐々に「毛筆習字」に。当初は不慣れなためか、バラ

すがうまく取れない様子であったが、集中して練習、指導した結果、本人も驚くほどに進歩し、満足げな児童の顔が印象的でした。

昼食は「お雑煮」。お寺で用意していただいた、醤油仕立てで鶏肉、鳴門巻き、菜っ葉の入ったお雑煮。お餅を焼いて、盛り付けを担当したのは、お寺の方、地域の方、ボランティアの学生さん、キワニス会員。お寺で用意された「寿、犬の絵の杯」に甘酒を入れ

て乾杯し、児童とお迎えに来た保護者と一緒にいただきました。食欲旺盛で何杯もお代わりする児童も多かったです。

「寺子屋 in 妙法寺」に参加している児童からの「毎回、楽しみにしている」「また、来ます」の言葉が何よりもうれしい寺子屋でした。

(事業企画副委員長 雲類鷲孝)

キワニス奉仕賞受賞式 2017.11.27

第6回「キワニス奉仕賞」は、「NPO法人 豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」に!

昨年11月17日例会にて、「第6回キワニス奉仕賞」授賞式が行われ、「NPO法人豊島子どもWAKUWAKUネットワーク」に表彰状と副賞が授与されました。

同団体は、平成27年開催の北池袋「キワニス子ども食堂」、翌28年春「キワニスかんたん子ども料理

教室 in としまえん」、同年12月東池袋「子ども食堂でチャリティシンポ」など、当クラブ事業企画委員会と共に子どもたちのためのイベントを開催。その功績と協りに感謝するもの。Kファミリー委員会の選考審査を経て、今回の受賞団体として決定致しました。

授賞式には、栗林知絵子理事長及び、「チャリティシンポ」で実行委員長を務めた中村翔さん（立教大学2年）が出席。栗林理事長から「このような名誉ある賞をいただき、私どもの団体にとって誠にありがたい」とのお礼の言葉をいただきました。

(社会公益委員長 都甲洋史)



キワニス奉仕賞

キワニスクラブの奉仕活動に参加、協力する団体、学生サークルに対し、表彰しています。

芦屋キワニスクラブ10周年記念チャリティーパーティーに参加して 2017.11.22

11月22日芦屋キワニスクラブの10周年記念チャリティーパーティーに参加しました。芦屋クラブは、会員数22名の比較的こじんまりしたクラブですが、やることは大きく日本で初めてのSLPであるサークルK芦屋を立ち上げた事でも知られています。会場はJR芦屋駅側のホテル竹園芦屋で、全国のキワニスクラブからも多くの会員がお祝いに駆けつけ、総

勢70名を超える大変賑やかなイベントとなりました。パーティーでは、自閉症の理解促進のための「ライトイットアップブルー」を主宰する活動NPO法人あっとオーテムズ、腕に障害を持った子ども達に僅かな筋肉の電氣的信号を感知して動く筋電義手の普及を目指す小児筋電義手バンクの活動が紹介され、両団体に会場での募金も含め寄付金が授与され

ました。いずれも地域社会に大きなインパクトを与えるプロジェクトと言えます。また、義手の女子学生による感動的な演奏やサークルK 芦屋ショップによる元気なファンレディング現場に接するなど大変印象的なイベントでした。

(会員 吉田浩二)



ロハス de 子ども食堂 2017.11.5

私たちサークルK 武蔵野大学学生団体 connect は、2017年11月5日の日曜日に武蔵野大学有明キャンパスにあるロハスカフェで子ども食堂を開催しました。

初めての取り組みで不安もありましたが、多くの方々のご協力もあり、11名の子供達が参加してく



れました。当日は段取り通りに進み、怪我等の大きなトラブルもなく無事に終わることができました。子供達も私たち自身も楽しみながら取り組みました。また今回、企画のテーマとして「有明地域とのコミュニティの構築」を掲げていました。豊洲の子ども食堂の方や、企画の宣伝を快く承諾してくださった多くの地域の皆様と交流できたので、掲げたテーマを達成することができました。

野菜を切る際に包丁での怪我の危険性があったことや本来の子ども食堂の意図を全て成すことができなかったことなど反省点もありましたが、機会があれば改善しまた開催したいと思っています。

最後になりますが、今回の企画に快くご協力してくださった皆様、参加者の皆様、保護者の皆様本当にありがとうございました。

(サークルK 武蔵野大学 船橋悠真)

サークルK「武蔵野大学CONNECT」新体制発足式 2018.1.13

武蔵野大学の学生ボランティアサークル「Connect」は2015年に結成され、2016年秋東京キワニスクラブ支援の「サークルK」（キワニスの大学生版）の一員となりました。結成当初のメンバーは今春より4年生となり、卒業準備や就活等に向け後輩に活動の軸を委ねる運びとなりました。

そこで新体制の発足式が、去る平成29年1月13

日10時20分から「武蔵野大学・武蔵野キャンパス 雪頂講堂」にて執り行われました。学生および親御さん達の参列する中、東京キワニスクラブからも7名の会員が参列。「Kファミリー委員会」副委員長・杉田健と「Connect」設立以来顧問をされている東京キワニスクラブ元会長・吉國眞一が、ご挨拶させて頂きました。

学生からは、熊本被災地での支援、子ども食堂、地域活性化運動等の活動および映像が報告されました。彼等の努力の成果もさることながら、現場に行き活動してこそ学べるボランティア活動の実態について深く考えさせられる点が少なくありませんでした。まだまだ新しい組織体とはいえ、既に積極的に

価値ある活動を行いその延長で世代交代の第一歩を踏み出せたということは大変喜ばしい事ではないでしょうか。今回式典に参加して今後も一層の支援と協働を続けていくに相応しい団体であると感じ入りました。

(Kファミリー副委員長 杉田健)



忘年会 2017 2017.12.9

12月9日(土)の夕方、東京キワニスクラブの忘年会が有楽町電気クラブの石曜日で開催されました。会員の親睦を目的に開催される本イベントですが、会員並びにご家族合わせて46名もの方にご参加いただき、年の瀬のひと時を、大変和やかな雰囲気の中で催す事ができました。

藤原武平太ガバナーのご挨拶に続き、国際理事の北里光司郎会員に乾杯のご発声をいただきパーティーは始まりました。石曜日の料理長のお料理の数々はとても美味しく、アットホームな雰囲気の中、皆さ



んに一年の思い出を語っていただきました。また、パーティーの席上では、棚澤青路前会長に一年の思い出をお話ししていただき、荒木なぎさ会員には2017年二回行われた、漆間巖会員とのピアノ連弾のご苦労話も伺えました。

パーティーも盛り上がる中、カメラ部主催の「第二回写真展」コンテスト結果発表が行われました。内丸摂子会員の司会進行のもと順位発表、カメラ部部長の緒方謙二郎元会長から作品講評、受賞者コメントもあり、さらに盛り上がりました。キワニス部門の優秀作品は、内丸会員の作品「寺子屋」でした。一般部門は、伊藤一實会員のお孫さんへの愛情溢れ



「捕ったよ!!」撮影 伊藤一實

る作品「捕ったよ!!」が選ばれました。また、パーティーの直前まで行われていた囲碁部の決勝トーナメントでは、菅野良三会員が僅差で小坂元会員を破り優勝されました。そして最後に、緒方元会長により締めのお言葉をいただき、忘年会は盛大のうちにお開きの運びとなりました。

忘年会の運営・進行を中心に行っていただいた前レ

クリエーション委員長の山下朗裕会員、一年間お疲れ様でした。カメラ部の内丸会員、事務局の大岡さん、上條さん本当にありがとうございました。また最後に、拙い司会進行の山田をご指導いただいた佐藤隆国会員には、電気クラブ様・石曜日様との良きご縁をいただきまして、心より感謝申し上げます。

(レクリエーション委員長 山田明彦)

2017年 秋季ゴルフ大会 2017.11.30

2017年11月30日(木曜日)、『秋季ゴルフ大会』が埼玉県入間市の名門「狭山ゴルフカントリークラブ」にて開催されました。2016年日本オープンゴルフで、松山英樹プロが優勝した事で知られる素晴らしいゴルフコースです。

当日は、腕に自信のある往年の名ゴルファー精鋭15名4組が集合。凡そ20年振りのゴルフと笑う増田好平会長はじめ、美女会員3名(山口知子会員・高橋蓉子会員、内丸摂子会員)も参加し、和やかな



雰囲気の中スタートしました。心配された天候も、レディース & ジェントルメンの皆さまの日頃の行いの良さのおかげで最終ホールまで持ち、和気あいあいのゴルフ大会となりました。

幹事をいつも努めて頂き、コース選定にもご配慮下さった亀田丈司会員が、ベスグロで優勝。青木秀臣会員からの賞品が贈呈されました。(青木会員ありがとうございました。)参加された皆さまからも数多くの賞品を頂きました。感謝感謝!!

2018年は、春季・秋季統一し、秋にチャリティゴルフ大会を開催する予定です。伝統ある『東京キワニス・ゴルフ大会』ならではのコンペにしたいとも思っております。是非、お知恵を頂戴したいと思いますので宜しくお願いします。

ゴルフをされる皆様、関係者の皆様、お気軽にご参加下さいませ。

(レクリエーション委員長 山田明彦)

第30回ワインを楽しむ会 2018.2.15

今回は定例の有楽町「綴」でカベルネソーヴィニオン種をテーマとする開催でした。サッポロのローマ字スペルを逆さにしたカリフォルニアのオロパスやグラヴの銘酒ドメヌドシュヴァリエといった高級ワインから国産、ポルトガル、チリ産までヴァラエティに富んだ5種のカベソーの勢揃いです。これだけの種類を料理と併せて楽しむのは愚生も初めてでした。国産(長野古里ぶどう園)の印象的なバニラ香は特筆すべきで丁寧な造りを感じさせてくれ

ました。料理もワインに合うような工夫が随所がありました。唯一の白、スモーキーなソーヴィニオンブランにハマチのスモーク仕立て、肉主体でなく赤ワインとのマリージュを意識した大根に詰めたシチューと鱈のパートフィロ包み、またグラヴワインに定番のラム肉、しかもウェリントン風パイ包みでサーヴする等手間もかかった料理が多く総勢二五名、お店の心遣いに感謝したこと間違いなくと思います。

(レクリエーション副委員長 石井亜佳理)

これからの活動

2018.2～2018.8 主要行事(予定)

	例会理事会等	イベント	子ども食堂・寺子屋	ドールをつくる会
3月	2 例会 2276 理事会⑥		3 かんたん子ども料理 教室 in としまえん	10 ジャックス
	8-10 ASPAC クアラルンプール 大会 (マレーシア)	8 宝塚観劇会	3 寺子屋	
	16 例会 2277	15 なぎさ会 (100回) 19:00～	17 寺子屋	
	30 例会 2278	27 囲碁愛好会	27 妙法寺子ども食堂	
4月	6 例会 2279 理事会⑦	3 靖国神社慰霊の泉献納昇殿参拝	7 寺子屋	
		12 なぎさ会	14 寺子屋	
		17-19 神韻世界ツアー	28 寺子屋	
	20 例会 2280	19 宝塚観劇会		
		24 囲碁愛好会		
5月	18 例会 2281 理事会⑧	10 なぎさ会	19 寺子屋 26 寺子屋	
		13-27 大相撲夏場所		
	25 ファミリーデー 2282 椿山荘	17 ワイン会		
		29 囲碁愛好会		
		31 宝塚観劇会		
6月	1 例会 2283 理事会⑨	14 なぎさ会	2 寺子屋 16 寺子屋 30 寺子屋	
	15 例会 2284	21 新入会員オリエンテーション		
	29 例会 2285	26 囲碁愛好会		
	6/28-7/1 KI 年次総会ラスベガス大会	28 宝塚観劇会		
		24		
7月	6 例会 2286 理事会⑩	12 なぎさ会		21 ドールフェスティバル
	20 例会 2287	24 囲碁愛好会		
	20 東京ディビジョン会議(予定)	24		
8月	3 例会 2288 理事会⑪		2 妙法寺子ども食堂	
	17 例会 2289			
	31 例会 2290	28 囲碁愛好会		

2018.2.28 現在

事務局便り

入会者

○野上秀子様

入会日 2018年2月2日
勤務先 株式会社 セブンカルチャーネットワーク
職歴 1978年 株式会社西武百貨店入社
2007年 株式会社そごう・西武 有楽町店 店長
趣味 料理、美術鑑賞
推薦者 棚澤青路会員、増田好平会員



○島井和裕様

入会日 2018年2月2日
勤務先 株式会社 スマート企画コンサルティング
職歴 1971年 三菱商事株式会社入社
2007年 東京産業株式会社
趣味 音楽（バイオリン）、合唱
推薦者 金井義邦会員、鈴木祐二会員



物故会員

○山下幸雄様

入会日 1972年4月5日
2018年1月25日にご逝去されました。
心よりご冥福をお祈り申し上げます。

■平成30年2月28日現在 総会員数 189名

編集後記

「活動レポート」をお読みいただき、ありがとうございました。
また、執筆者、写真提供者、アドバイスを下さった皆様にも、御礼申し上げます。

「東京キワニスクラブの魅力」を伝えることが、「ドールづくり」「子ども食堂・料理教室」「寺子屋」などに安心して参加することに繋がり、「子ども達の幸せ」にも繋がっていく。更には、仲間も増えるはず！
そう信じて、これからも「広報」発信していきますので、ご協力よろしく願いいたします。

広報委員長 内丸摂子

<お知らせ>

- 新リーフレット、三折り名刺を作成中。まもなく完成。
- ホームページ、名刺の裏面、少しリニューアルしています。
- Facebook と Twitter もスタート！ 「東京キワニスクラブ」で検索して下さい。
- 広報委員会のメンバー募集中です。

東京クラブの活動

● キワニスドール

身長約40cmで体重約50g、とても素朴な形で、目も鼻も口もありません。ただ一つ身に付けているのは、キワニスマークの小さなラベルだけです。

しかし、このちょっと風変わりな、ノッペラボウの小さな人形が普通の玩具の人形とは違った方法で、全世界の病気の子どもたちに大きな力を与えています。キワニスドールは、病気の子もたちと仲良しになり、見守ることが使命です。

白い木綿生地にポリエステル綿を詰めただけのキワニスドール。ノッペラボウなのは、使う人が顔を描いたり洋服を描いたりすることができるようにしているためです。また、お医者さんや看護師さんが、治療の説明のために、人形に絵を描くこともできます。さまざまに描かれた人形は、病気のその子だけの人形になります。

キワニスドールは、メルボルンのナナワディング・キワニスクラブで、1988年に初めて作られました。メルボルンからオーストラリア全域で広がり、さらに1994年に北欧にも伝播しました。日本地区では2001年11月から取り組み始めました。現在では全世界のキワニスクラブでドールを制作して病院などに寄贈するという活動を行っております。

2009年から毎年、キワニスドールの利用事例などについての情報共有をはかり、作る側と利用する側双方の課題を議論し合う場として、キワニスドール・シンポジウム2016年からはキワニスドール・フェスティバルを開催しています。

キワニスドール (Kiwaniis Doll) を平成18年7月14日に、商標登録し、平成28年4月19日に更新いたしました。

● キワニス子ども食堂

ひとりっ子・共働き・シングルマザー・ファザー等から「孤食」が増加する中で、世代を超えて楽しく語り合いながら、「美味しく」食べる機会の提供として、「キワニス子ども食堂」を学生会館精養軒等とともに開催しています。また、その進化系として、「キワニスカんたん子ども料理教室」をとしまえんの協力を得て開催しています。

● キワニス奨学金 (児童養護施設卒園進学者支援制度)

児童養護施設から大学・短大・専修学校への進学者向けに年間40万円(最長4年間)の奨学金(生活サポート)制度を2016年にスタートさせました。現在は2名の学生を支援しています。奨学金は会員からの寄付で賄っています。

● 表彰

キワニス「社会公益賞」 社会公益のために長年献身的に取り組んでいる団体を表彰しています。

東京キワニスクラブ「青少年教育賞」 国際的な活動を含め奉仕活動に積極的に取り組んでいる青少年団体を表彰しています。

キワニス「奉仕賞」 キワニスクラブの奉仕活動に協力する団体、学生サークルを表彰しています。

● SLP (学生・生徒版キワニスクラブ) 活動

高校生のクラブ、座間アメリカンハイスクール・キークラブと大学生のクラブ、サークルK武蔵野大学、若者による既存のサークル活動を支援するキワニス・ユースフォーラムがあり、若者のボランティア活動を支援しています。

キワニスクラブとは

キワニスクラブは、“世界の子どものために”を合言葉に奉仕活動を行う民間の世界的な団体です。1990年からは、特に幼い子どものための奉仕活動に力を入れています。名称のキワニスは、デトロイト周辺に住んでいたアメリカ先住民の言葉“Nun-Kee-Wanis” (みんな一緒に集まる) に由来します。

キワニスクラブは、1915年1月21日米国デトロイト市で生まれました。当初はアメリカとカナダで発展していましたが、1963年にはヨーロッパ3都市に広がり、現在世界の約82ヶ国、7,000のクラブ、約19万人の会員が国際キワニスを構成し、その本部は米国インディアナポリスにあります。

日本では、東京キワニスクラブが1964年1月24日、アジア太平洋地域で最初のクラブとして設立されました。次いで名古屋、大阪、広島、神戸、仙台、札幌、横浜、高松、福岡、京都、千葉、和歌山、新潟、泉州、埼玉、西宮、熊本、静岡、金沢、松江、鹿児島、芦屋、福島、大分、千代田、長崎、宮崎、佐賀、秋田、大垣、福井、沖縄、徳島、青森の順に生まれ、現在35のクラブで会員は約2,000名で活動しています。東京キワニスクラブは、1967年2月27日社会奉仕団体として初めて、厚生大臣より社団法人の認可を受けました。2012年10月1日に一般社団法人に移行しました。

一般社団法人 東京キワニスクラブ 会長 増田好平 〒101-0047 千代田区内神田2-3-2 米山ビル7階

Tel: 03-5256-4567 Fax: 03-5256-0080 e-mail: tokyokiwanis@japankiwanis.or.jp URL: <http://www.japankiwanis.or.jp/tokyo>